



平成27年3月15日
内閣府（防災担当）

山谷内閣府特命担当大臣（防災）とプラヴィン・ジャムナダス・ゴードン
・南アフリカ共和国協調統治・伝統業務大臣との会談



本日15日、午後3時50分から約15分間、山谷内閣府特命担当大臣（防災）（第3回国連防災世界会議議長）は、プラヴィン・ジャムナダス・ゴードン・南アフリカ共和国協調統治・伝統業務大臣と会談を行ったところ、概要は以下のとおりです。

1. 冒頭

山谷大臣から、東日本大震災に際し、南アフリカから救助隊の派遣をいただいたことに改めて謝意を表す旨の発言があった。

ゴードン大臣からは、南アフリカ人の心は日本人とともにあり、今後は防災分野における日本のリーダーシップに期待する旨の発言があった。

2. 防災関係

山谷大臣から、サブサハラ地域における南アフリカの防災分野でのリーダーシップに期待するとの発言があった。また、事前防災の考えを導入することは、結果として、費用は7分の1になると言われており、防災に対して、コストという意識ではなく、投資と考えてほしいとの発言があった。

ゴードン大臣からは、南アフリカは、サブサハラにおいて、災害にあった周辺国から頼られる立場であり、今回の会議に参加し学んだことを、今後役に立てたいとの発言があった。また、日本の経験が、世界に貢献することを期待しており、防災分野の

ハイレベル技術を是非世界に役立てることを期待している旨の発言があった。